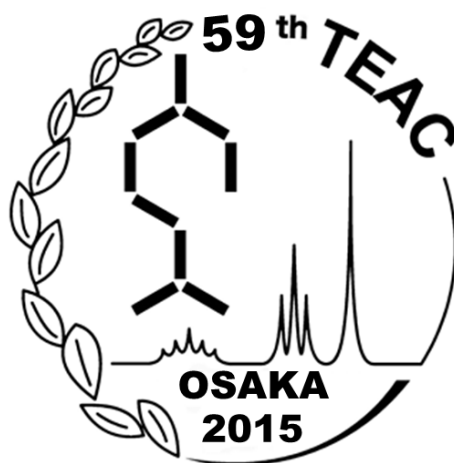


第59回 香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会

開催案内



平成27年9月5日（土）－9月7日（月）

近畿大学

主催：香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会

共催：日本化学会・日本薬学会・日本農芸化学会

協賛：日本油化学会・有機合成化学協会

後援：近畿大学

第59回 香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会

主催 香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会
共催 日本化学会・日本薬学会・日本農芸化学会
協賛 日本油化学会・有機合成化学協会
後援 近畿大学

会 期 平成27年9月5日(土) - 9月7日(月)

会 場 近畿大学 東大阪キャンパス(本部) B館および11月ホール

討論主題

A:精油化学

成分・化学構造、香気物質分析

B:テルペン化学

反応と合成

C:香料・テルペンに関わる生物・生体関連化学

生体触媒、生理活性、生合成、その他

D:香料科学

機能性とその応用、製造技術と品質管理、反応と合成、その他

発表形式

1. 講演は口頭発表です。
2. 発表時間は1件当り講演12分、討論3分です。
3. 一般講演は液晶プロジェクター(パワーポイント)で行います。
4. 本討論会から、講演に PC切替機(スイッチャー) を用いますので、講演者はノートPCを持参し、発表の際は自身で操作をお願いします。PC本体には映像出力端子ミニD-Sub15ピン端子(メス)があることを必ずご確認ください。映像出力端子が本体に無い場合の接続アダプタ等も必ずご用意下さい。(詳細については、講演者に別途ご連絡いたします)
5. 講演の前に試写コーナーにてPCの作動確認を必ず行ってください。また、トラブルに備えて、作成したファイルを別途USBメモリーに保存してご持参下さい。
6. 実行委員会では全ての講演会場に 1) 液晶プロジェクター、2) PC切替機(スイッチャー)、3) 接続ケーブル(RGBケーブル)、4) PC用電源タップ、5) レーザーポインター を用意します。

講演申込締切 6月19日(金) 必着

講演要旨原稿締切 7月31日(金) 必着

- 基調講演** 1. 香料開発の歩み (TEAC とともに)
榊村 聡 (高砂香料工業 (株))
- 特別講演** 1. Chemometrics and Bioactivity of Terpenes
Ikhlas A. Khan (The Univ. of Mississippi)
2. 神経栄養因子活性を有する天然物の合成研究
福山 愛保 (徳島文理大学)
3. クロマグロ完全養殖の達成と産業化への現況
宮下 盛 (近畿大学)
- 依頼講演** 1. シグナル伝達調節作用をもつテルペノイド成分の探索
石橋 正己 (千葉大学)
2. エラジタンニン類の全合成
山田 英俊 (関西学院大学)
3. Essential Oil Plantation and Production for a World Wide Market
Gilles Berthoumieux (Sirius SAS)
- 懇親会** 9月6日 (日) 帝国ホテル 大阪 (TEL: 06-6881-1111)
- エキスカージョン** 9月7日 (月) 大阪観光ツアー 7,000円 (当日8,000円)
- 参加申込締切** 7月31日 (金) 必着
- 参加登録費等** 参加登録費: 共催・協賛学会正会員 3,500円 (当日4,000円)
非会員 4,000円 (当日4,500円)
学生 2,500円 (当日3,000円)
講演要旨集: 3,500円 (郵送は、送料700円加算、当日4,000円)
懇親会費: 8,000円 (当日9,000円)
- 参加申込方法** 本討論会のホームページにある参加登録受付システムからお申し込み下さい。
- 講演申込方法** 講演申し込みおよび講演要旨原稿の提出は参加登録受付システムの“一般講演申込・要旨原稿の登録”から行ってください。
- ◎インターネット経由でのお申し込みが困難な方は下記の大会事務局までご連絡ください。

大会事務局ホームページ <http://www.teac-office.jp/teac2015/teac2015.html>

本部事務局ホームページ <http://www.teac-office.jp/>

世話人代表 近畿大学理工学部 宮澤 三雄

TEL:06-4307-3449 FAX:06-6727-2024 E-mail: teac@apch.kindai.ac.jp


エクスカーションのご案内

最終日の9月7日（月）に、エクスカーションを予定しております。

大阪観光ツアー 旅行代金7,000円（当日8,000円）

今回は、二つのコース案をご用意いたしました。ご希望の多いコースを採用して開催することにしたと思います。

*出発地・解散地を**梅田・難波**としていますが、ご参加者の宿泊先等を考慮して変更することがございます。

	行 程
コースA	<p>梅田・難波(予定) === 大阪城(見学) === あべのハルカス(昼食・見学) ==/ 9:00 9:40~11:00 11:30~13:30(昼食)/13:45~15:00(見学)</p> <p style="text-align: right;">/=== 司馬遼太郎記念館(見学) === 梅田・難波(予定) 15:30~16:15 16:30頃</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">    </div>
コースB	<p>梅田・難波(予定) === 堺刃物ミュージアム(見学) === 利晶の杜(昼食・見学) ===/ 9:00 10:00~11:00 11:15~14:00</p> <p style="text-align: right;">/=== あべのハルカス(見学) === 梅田・難波(予定) 14:30~16:00 16:30頃</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">    </div>

■お申込方法：本討論会のホームページにリンクのある参加登録受付システムをご利用ください。

■事前お申込み締切日：平成27年7月31日（金）

第59 香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会

ベストプレゼンテーション賞のご案内

第47回討論会から発表者のより一層の研究活動の発展を期待して、優れた講演に対して「ベストプレゼンテーション賞」の表彰を行っています。これまで12回実施されてきており、今回も実施を予定しております。本賞の趣旨と実施方法は次の通りです。

1. 対象者：平成27年4月1日現在で満40歳未満の講演者。ただし、受賞者は表彰の時点において共催・協賛学会の会員（入会申込手続中を含む）とします。
2. 審査方法：事務局において指名された選考委員により、発表内容、プレゼンテーション、質疑応答の対応などに関する審査を行います。
3. 結果発表と表彰式：9月6日の懇親会において執り行います。受賞者には賞状および副賞を贈呈いたします。また、受賞者を本討論会のホームページ上に発表いたします。

第12回ベストプレゼンテーション賞受賞者

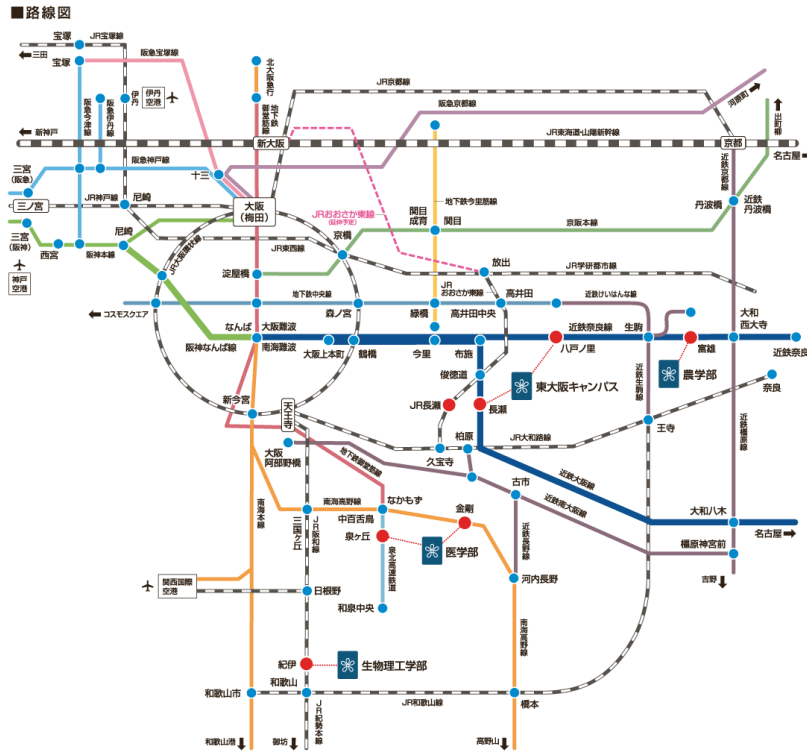
氏名	所属	演題
渡邊 諒子	筑波大生命環境	光屈性制御物質 Raphanusanin によるダイコン光屈性機構の解明
宮澤 和	長谷川香料(株)	含硫環状アセタール類の香気特性
末田 麗華	曾田香料(株)	AROMATCH を用いたフランス産発酵バターの特徴香気成分の解明
村田 ちひろ	上智大理工	イオン液体を利用したレモングラス香気成分の新規抽出法
太田 浩一郎	東京薬大薬	沖縄産海綿由来の新規ジテルペンイソシアニドの単離、構造および合成
金子 秀	小川香料(株)	調理中に漂う香気成分の捕集法の開発とその応用
古川 晃規	工学院大工	BH ₃ を用いたエポキシ不飽和エステルの(Z)-アルケン選択的 SN ₂ ' 反応
河村 篤	筑波大院数理物質	海洋軟体動物アメフラシ由来の新規 9,11-セコステロイド
中本 幸志	高田香料(株)	シシユズ(獅子柚子)の香気成分
上田 大次郎	新潟大院自然・農	龍涎香の主成分アンブレインの酵素合成

交通のご案内

会場：近畿大学 東大阪キャンパス（本部）B館および11月ホール（東大阪市小若江3-4-1）

下記 URL にも情報が掲載されています。

<http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/campus-guide/access.html>



各主要駅からの経路・所要時間（目安）

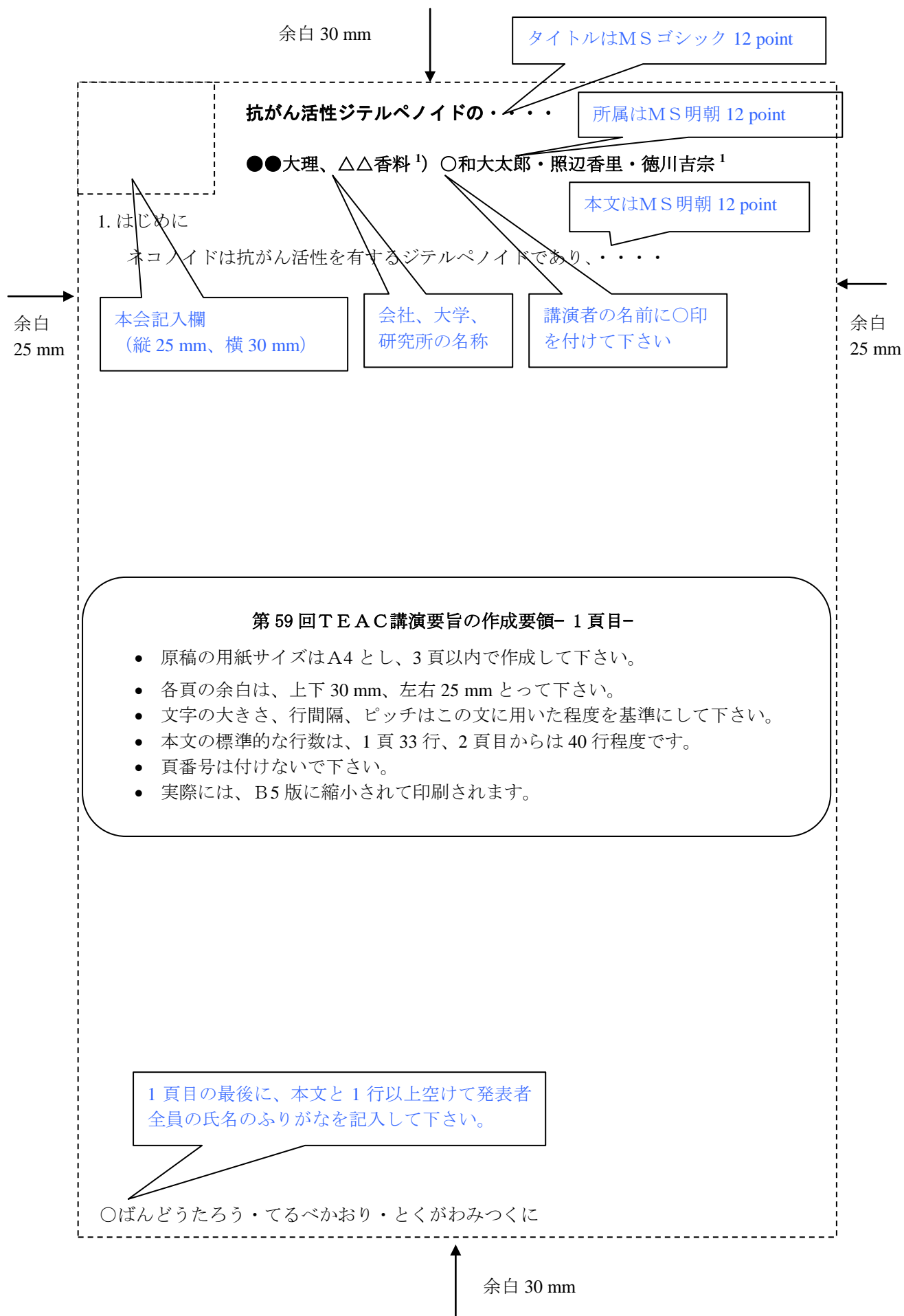


宿泊のご案内

大学周辺には宿泊施設はありませんが、近鉄上本町駅、近鉄難波駅周辺を中心に、大阪市には宿泊施設が多数あります。右記の URL 等をご参考下さい。(<http://www.jalan.net/ikisaki/map/osaka/>、
<http://travel.rakuten.co.jp/yado/osaka/shi.html>、
<http://rurubu.travel/area/27.html>)

第 59 回 TEAC 講演要旨作成手順

1. 講演要旨のホームページへのアップロードは、講演申し込みを行い、講演番号の通知が大会事務局から届いた後に行ってください。
2. 下記見本の書式に従って要旨を作成し、pdf 形式に変換して下さい。(演題ごとに 1 つのファイルとして下さい)
ファイル名は通知された講演番号を下記の例のように変換して保存して下さい。
なお、全て半角でローマ数字は算用数字にしてください。
(例：1AIII-10 の場合、 1A310.pdf)
(例：2PIV-5 の場合、 2P45.pdf)
3. 図表は解像度の高いものをご用意ください。要旨は B5 に縮小されますので、大きさに留意ください。(提出時は A4 でお願いします)
4. 白黒での印刷になりますので、色の使用にはご注意ください。
5. 要旨は必ず、pdf 形式でご提出 (アップロード) ください。
※pdf 形式なら印刷での改行、構造式、字体などのトラブルが無くなります。
6. 要旨の提出締め切りは **7 月 31 日** ですが、早めにご提出ください。



余白 30 mm

タイトルはMSゴシック 12 point

所属はMS明朝 12 point

抗がん活性ジテルペノイドの・・・

●●大理、△△香料¹⁾ ○和大太郎・照辺香里・徳川吉宗¹

本文はMS明朝 12 point

1. はじめに

ネコノイドは抗がん活性を有するジテルペノイドであり、・・・

余白
25 mm

本会記入欄
(縦 25 mm、横 30 mm)

会社、大学、
研究所の名称

講演者の名前に○印
を付けて下さい

余白
25 mm

第 59 回 T E A C 講演要旨の作成要領- 1 頁目-

- 原稿の用紙サイズはA4とし、3頁以内で作成して下さい。
- 各頁の余白は、上下30mm、左右25mmとって下さい。
- 文字の大きさ、行間隔、ピッチはこの文に用いた程度を基準にして下さい。
- 本文の標準的な行数は、1頁33行、2頁目からは40行程度です。
- 頁番号は付けなくて下さい。
- 実際には、B5版に縮小されて印刷されます。

1 頁目の最後に、本文と 1 行以上空けて発表者全員の氏名のふりがなを記入して下さい。

○ばんどうたろう・てるべかおり・とくがわみつくに

余白 30 mm

余白 30 mm

余白
25 mm

余白
25 mm

第 59 回 T E A C 講演要旨原稿の作成要領—2 頁目—

- 2 頁目は、40 行程度を全て本文として使用できます。

余白 30 mm

余白 30 mm

余白
25 mm

余白
25 mm

第 59 回 T E A C 講演要旨原稿の作成要領—最終頁—

- 最終頁の **下半分** には、英文のアブストラクトを記入して下さい。
- **連絡先 e-mail アドレス** を記入しても構いません (任意)。
- フォントは Times New Roman で、タイトルは 14 pt、その他は 11 pt。

Leave two lines

Title in Bold 14pt Times New Roman With Only Initials in Capitals

Leave one line

Names of Authors (Presenting author underlined) in Plain 11 pt

Leave one line

Postal Address (Affiliation: Company, University, Institute, etc) in Plain 11 pt

Corresponding Author's E-mail Address in Plain 11 pt

Start text here

Line spacing 1.0 to 1.5

余白 30 mm